職 務 経 歴 書

2026年7月26日現在
氏名：サウス・マシュー

■ 職務要約

幼稚園教諭として勤務する中で、現場の業務課題を自ら発見し、React・TypeScript を用いた社内Webアプリケーションを設計・開発・運用してきました。実際のユーザー（教員・保護者）が日常的に利用するプロダクトを、要件定義からデータ設計・実装・デプロイまで一人で担当。業務自動化により月額約30,000円のコスト削減、保護者面談準備の工数（教員1名あたり約60時間/期）の大幅削減を実現しました。現在はフロントエンドエンジニアへの転向を目指し、TypeScript・Supabase を用いた本番運用アプリを開発中です。

■ 活かせる経験・スキル

【フロントエンド】 React（Hooks / カスタムフック / 派生状態設計）、TypeScript、JavaScript(ES6+)、HTML5 / CSS3、Tailwind CSS、Vite

【バックエンド / データ】 Supabase（PostgreSQL / 認証 / Row Level Security）、Google Sheets・Drive API、OAuth2.0（リフレッシュトークン管理）、Google Apps Script

【インフラ / 環境】 Vercel、Git / GitHub、CI/CD（自動デプロイ）

【学習中】 Next.js

【語学】 日本語（JLPT N2）、英語（ネイティブ）

■ 職務経歴

星田インターナショナル
2024年2月 〜 現在　　幼稚園教諭 / 社内システム開発（兼務）

〈社内システム開発〉
教員として勤務しながら、現場の非効率をソフトウェアで解決する役割を自発的に担い、社内唯一の開発者として複数のWebアプリを担当。

▼ 園児 進捗トラッカー（開発中）

・課題：園児の成長記録と保護者面談準備に、教員1名あたり約60時間/期を要していた
・対応：React + TypeScript + Supabase + Tailwind でダッシュボード型アプリを設計・実装
・技術的工夫：
  - 評価データを追記型（append-only）ログとして設計し履歴を保持
  - useMemo による派生状態で最新評価を効率的に参照
  - Supabase Row Level Security で行レベルのアクセス制御（追記のみ許可 / 更新・削除は管理者のみ）
  - クラスごとに異なる評価項目に対応する動的スキーマ設計
・使用技術：React, TypeScript, Vite, Supabase(PostgreSQL/Auth/RLS), Tailwind CSS, Vercel

▼ 保護者用 入園申込アプリ（Hoshida Dispatch）

・課題：児童の個人情報を含む入園申込を、紙から安全に電子化する必要があった
・対応：保護者がオンラインで申込・写真提出でき、内容が自動で職員用の Google Docs/Sheets に集約される仕組みを構築
・多言語（日英）対応により、日本語・英語いずれの保護者も利用可能。インターナショナルスクールの多様な家庭に対応
・技術的工夫：Vercel サーバーレス関数と OAuth2.0 によるトークン管理で、個人情報を安全に取り扱う設計
・使用技術：React, Vite, Google Sheets/Drive API, OAuth2.0, Vercel

▼ 業務自動化ツール群（Google Apps Script）

・社内サインインシステム、園児の昼寝・体重・身長記録の自動化（リアルタイムグラフ）、日次点検記録の電子化を構築

・成果：不要な有料ソフト契約を削減し、月額約30,000円（年間約360,000円）のコスト削減を実現

〈教育業務〉

・幼稚園・小学生向け英語授業、教材 / アクティビティの企画運営

・英検面接対策を担当し、10名の合格を支援

■ 個人開発 / ポートフォリオ

▼ Anichive — アニメ検索アプリ

・非同期データ処理の設計に注力。デバウンス検索、レスポンスのキャッシュ、実行中リクエストのキャンセル（競合状態の防止）を実装

・使用技術：React, Vite, REST API(Jikan), Vercel

・URL：anichive.vercel.app　　GitHub：github.com/MatthewRSouth

■ 保有資格

・日本語能力試験 N2（2023年）

・TEFL 120時間（2023年）

・文学士（日本語・日本文学）カリフォルニア大学リバーサイド校（2018年）

■ 自己PR

（1）現場課題を自ら発見し、コードで解決してきました

与えられた仕様を実装するのではなく、現場の課題を自ら見つけてソフトウェアで解決してきた点が強みです。非エンジニアの現場で、教員や保護者が毎日使うツールを一人で設計・開発・運用し、月額約30,000円のコスト削減など数値で測れる成果を出してきました。

（2）データ設計から考える習慣

実装前に必ずドメインとデータ構造を設計します。進捗トラッカーでは可変状態ではなく追記型ログを採用し、派生状態は都度算出する設計にしました。目先の実装より、後から拡張・検証できる構造を優先します。

（3）言語化力と、AIツールの実践的な使い分け

複雑な概念を相手に合わせて伝えてきた教員経験は、設計意図の共有やコードレビューに直結すると考えています。また Claude Code 等のAIツールを用いる領域と、コアロジックを自ら手を書く領域を明確に切り分けており、その基準も面談で具体的にお話しできます。